学校番号	３００７

令和８年度　数学科

教科	基礎学習	科目	基礎学習（数学）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校用　基本ドリル　一般常識&SPI						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・就職、入試対策として一般常識と SPI は必須です。一般常識の内容と SPI の能力検査を少しずつ順番に学習します。
・進路模試が１年間で２回あります。就職に向けてしっかりとした基礎学力を身につけましょう。
・単元ごとにレポート課題を出題します。授業内で解説した問題を参考に挑戦してみてください。

2　学習の到達目標

高等学校の学習で必要になる基礎学力の定着を図る。習熟度別班別編成により授業を行い、義務教育段階の学習内容の定着、特に方程式に重点を置き各工業科目でも活用できるようになることを目標とする。
(1)中学校までの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。
(2) 規則的に変化する事象を文字を用いて表し適切な手法を選択して，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。
(3) 工業科目を学ぶ上で必要な知識として数学を活用し，様々な問題に対して粘り強く考え的論拠に基づいて判断しようしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中学校までの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	適切な手法を選択して，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。 また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	四則混合の計算　各種方程式	四則混合の計算 分数･小数の計算 平方根の計算 1次方程式 連立方程式 2次方程式	a: 基礎的な計算方法を理解している。 b: 文字を用いることの必要性と意味を理解している。方程式の必要性と意味を理解している。方程式の解の意味を理解している。移項の意味を理解し、方程式を解く方法を理解することができる。2次方程式とその解の意味を理解し、解の公式や、因数分解を使って、2次方程式を解くことができる c:各種方程式を各工業科目で活用しようしている。	レポート	レポート	レポート
2学期	グラフ 図形	比例と反比例 1次関数 2次関数 平面図形 図形と相似 空間図形	a:比例, 反比例について理解している。1 次関数、2 次関数について理解している。事象の中には1次関数、2次関数として捉えられるものがあることを知っている。 b:平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。空間における直線や平面の位置関係を理解している。柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 c: 各工業科目で活用しようしている。	レポート	レポート	レポート
3学期	三平方の定理	三平方の定理	a: 三平方の定理の意味を理解している。三平方の定理を利用して，直角三角形の辺の長さを求めることができる。 b: 三平方の定理を見いだすことができる。 c: 各工業科目において活用しようしている。	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度